

山と小市朱赤の面にもあり、三上三郡と
書くも、之を管の文云之、邪領あのお遠ハ
附よりて増減あれば、年々々々に及りす
為光初後にも、子に白石とあり

一 小白川天神

山形の境内はあり、社領二百七十九石、威徳
院として、列當を、出羽守成、寛田川郡所田川
村天満宮の梅の實を、之て當社へ、極め、
事羽源記に、是く、より

一 住吉大明神

山形城東、室沢村より、多神、金高吉次、
父、後主といひ、一翁と、いふ、伝言、は、け、所の
産より、て、今に、子孫あり、列當、石室、山吉、蔵
坊といふ、芝安、以来、市朱赤を、以、載、不、毎、年
五月五日、被、村より、一、雨、を、不、種、修、物、流
禱、る、の、的、板、を、献、と、伝、言、被、造、以、来、の、例
と、を、

一 宝珠ふし石寺

山形城東、三里許、に、一、所、を、いふ、山、院、と、を、

山形城の東北、三里許、に、一、所、を、いふ、村、と、
いふ、け、る、の、境内、怪、岩、重、洞、の、奇、系、洞、と、絶